

SDGsを推進するため、市が行う事業をSDGsと関連付けて紹介しています。



☎ SDGs 推進室 (内線 421)

## 恵那市民大学「恵那三学塾」の推進

市では、生涯学び続ける大切さを説いた郷土の先人、佐藤一斎の「三学の精神」を理念に、①書に学ぶ ②求めて学ぶ ③学んで活かす、という三つの柱からなる市民三学運動に取り組んでいます。「求めて学ぶ」場を提供するため、多彩なメニューで恵那市民大学恵那三学塾を展開しています。

恵那三学塾には、個人の趣味や教養、スキルアップにつながる市民講座から、恵那の先人を学ぶ講座や大学教授から受ける専門的な講座まで、さまざまな学びの場があります。

皆さんも、恵那三学塾で、学ぶ意欲をより高めませんか。

☎ 生涯学習課 (内線 476)

恵那文化センター ☎ 25-5121

ヨガやダンスなどの身体を動かす講座、陶芸や水彩画などの作品作り、ウォーキングで地域を巡る講座など豊富なメニューが満載！



※令和5年度前期の講座ガイドブックは、令和5年3月発行予定です

### 関連するSDGsの目標

目標4  
質の高い教育をみんなに  
ターゲット 4.7  
持続可能な地域づくり



故郷の先人の教えや功績を学び、郷土愛を育むことで、持続可能な地域づくり(まちづくり・人づくり・心育て)につなげる。



## 恵那の基盤整備

### 災害で壊れた道路が1年かけてきれいに復旧



▲復旧後の市道



▲被災直後の市道

今回は、令和3年8月豪雨で被害を受けた道路が復旧したって聞いたから、見に行ってきたんだ。ここは、山岡町久保原の、市道中西西洞線。昨年8月13日から23日にかけての大雨で、道路が壊れてしまった場所だよ。大雨のとき山岡町では、24時間

で252mmもの雨が降ったんで。8月の平均降水量が約200mmだから、1日で1カ月分以上の雨が降ったことになるね。最近では温暖化の影響で雨の降り方が激しくて、道路や川の被害も多くなっているんだって。被害が起こると、早く復旧してほしいって思うけど、復旧には多くの費用がかかるよね。だから市では、壊れた場所をどのように直すか、どれくらいの費用が必要かを計算して、国に費用を負担してもらおうよう申請するんだって。申請が認められて工事が始まるまで、災害発生から約3カ月。工事が終わるまで約半年から1年。大きな災害では、もっと長くかかることもあるそうだよ。時間はかかったけど着実に復旧された道路。これでまたみんなが安心して通れるね。

☎ 建設課 (内線 252)

## 恵那暮らしビジネスサポートセンター だより

後継者がいなくて困っている...

どうやって承継するのがいいのかわからない...

後継ぎ候補とじっくり話ができていない

事業承継や引き継ぎに関する事など、事業承継に係る課題を解決

## 事業承継 個別相談会

相談無料 秘密厳守

事業承継とは、現在の経営者から後継者に会社を引き継ぐことをいいます。株式(経営権)や財産、組織、さらには社員まで、引き継ぐ内容は多岐にわたります。円滑な事業承継のためには、後継者の有無に関わらず、さまざまな準備に早く取り組む必要があります。当センターでは、専門家による個別相談会を行います。ぜひ相談ください。

日時 1月24日(火) ①午前10時 ②午後1時 ③午後3時 (各時間1組)

対象 中小企業の経営者、個人事業主

相談員 井上学氏 (県よろず支援拠点コーディネーター)

公認会計士・税理士。大手監査法人で上場会社や中小企業、私立学校、公益法人等の監査業務を多数経験する。その後、税理士事務所での実務経験を経て、会計事務所を開設する。専門分野は事業承継、会計、税務、監査。中小企業の事業承継支援と決算書分析を起点とした経営改善を得意とする。



☎ 恵那暮らしビジネスサポートセンター 恵那市大井町 206-5 ☎ 26-2266 (午前9時~午後5時・月曜定休) ✉ info@enalifebizsupport.jp



## 物知り先生のふるさと情報

(佐藤一斎生誕250年)

## 多くの収穫 嚶鳴フォーラム in 恵那2022 (1)

NPO法人いわむら一斎塾 鈴木隆一さん(岩村町)

11月18日・19日の2日間にわたり、恵那文化センターで嚶鳴フォーラムが行われました。郷土の先人の業績や遺訓を学び、今に生かす取り組みを進める全国の11自治体から、市長と教育長が一堂に会しました。初日は、岩村町と明智町の視察の後、交流会などが行われました。2日目の午前には、市町長・教育長の合同会議が行われました。会議では開催市として、生涯学習課といわむら一斎塾が、佐藤一斎の「三学の教え」を生かすまちづくりの成果と課題を発表し、その後、意見交換などが行われました。3年ぶりの対面での会議で顔ぶれも大幅に変わり、アフターコロナへのスタートを感じさせる、意義のある会議でした。午後からは、市民参加の「子ども嚶鳴フォーラム」が行われました。開会前には、岩邑小学校6年生が「言志四録」の群読を披露しました。開会の祝辞に、岸田総理大臣からのビデオメッセージが紹介されるといふサプライズもありました。



▲岩邑小学校児童が大勢の観客の前で堂々と発表

子どもたちは「私たちが学んでいること、考えていること、生かしていること」を、写真や映像を使いながら発表してくれました。4市町の小中学生と、岩邑小学校児童による発表でしたが、どの発表もよく工夫されていて、約900人の観客は熱心に子どもたちの声を傾けていました。コメントターとして登壇された俳優の鈴木亮平さんと東洋大学名誉教授の吉田公平先生から質問やコメントもあり、とても充実したフォーラムでした。